

木の本古墳群(深谷市)

稲荷町北古墳(瑠璃光寺東古墳)(深谷市)

前方の高まりが稲荷町北古墳/円墳





山王社が鎮座する



南西から見た状況





墳丘右手法面



墳丘左手法面



境頂に登って見る







天神宮と記された石碑



南東から見た状況



東側にアパートが接して建つ



遠景から見る



アパートの向こう側に廻って北から見る



円墳とされるが、左手(東側)が少し高くなっており、前方後円墳(その後円部が削られてしまった状態)であった可能性があるという



火の見塚古墳(深谷市)

これが火の見塚古墳であるが、上部が削平されてしまった状態だという



上部に祠がある/6世紀初めから中頃に築造の円墳



アップで見る



右手横から見る



裏へ廻って見る



木の本1号墳(妙見山)(深谷市)

この辺りが木の本古墳群の中央で、右手が3号墳、中央遠方に見える木々の辺りが2号墳、左手の木々の後ろ側に1号墳がある



右手の木々の辺りは2号墳、左手の白いハウスの後ろ側の木々の辺りが1号墳



正面の木々の辺りが1号墳



これが木の本1号墳/古墳時代後期(6~7世紀)築造の円墳



木の本古墳群（第一号墳）

原郷・東方地内の福川南岸一帯には、幡羅十八塚と呼ばれる古墳群があり、現在の木の本古墳群を指すものと思われる。これらの古墳群は、ほとんどが古墳時代後期（六〜七世紀）の直径二十メートル前後の円墳であるが、最近の調査により四十メートル級の大きなものもあつたことが確認された。幡羅地区には数多くの古墳があつたが、戦後の耕地化などで次々と取り壊された。現在は十二基が市の文化財に指定されているが、中でもこの第一号墳は保存状態が良く、代表的なものである。

平成五年十一月

深谷上杉顕彰会

（第二十三号）

西面/さて、反時計回りに墳丘を周ってみよう



南面

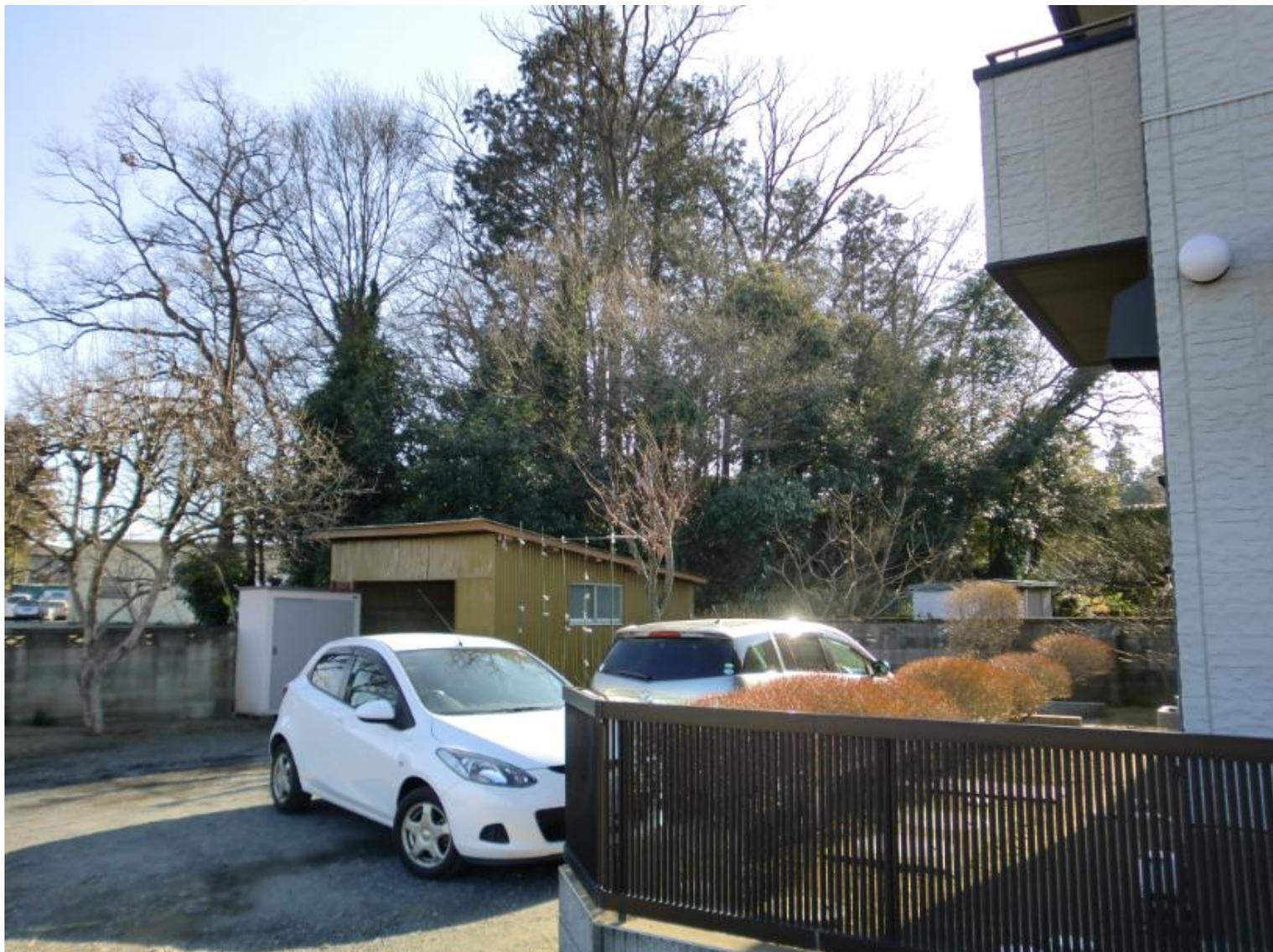




東面







北面



墳頂に登って見る









木の本2号墳(地藏山)(深谷市)

正面は木の本2号墳/円墳



北面から近づいてみる





境頂に登って見る





南面に下りて墳丘の裾を見る



南面から見た状況



東南面



南面遠景



アップで見る



近くには二十二夜塔と記された石塔があった



木の本3号墳(氏神塚)(深谷市)

正面が木の本3号墳/円墳/7世紀前半の築造とされる





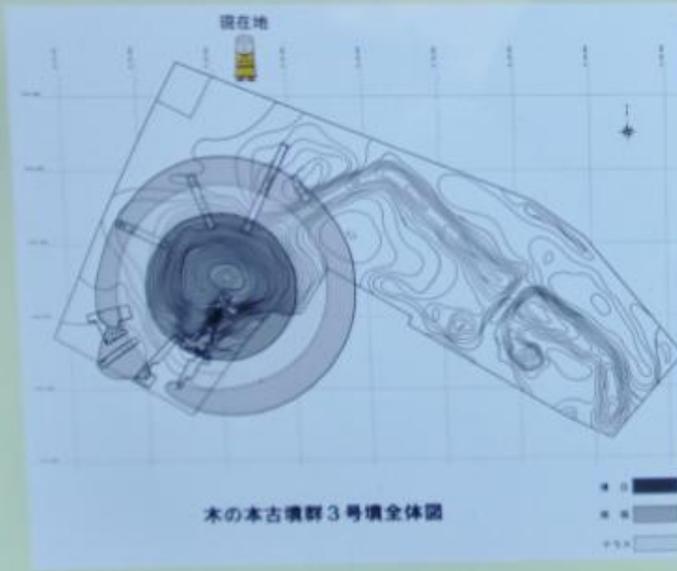


市指定史跡 木の本古墳群第3号墳

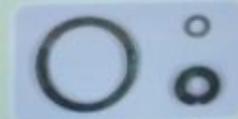


木の本古墳群は、原郷から東方にかけての台地縁辺に分布する群集墳です。古墳時代後期の5世紀末から7世紀前半にかけて、直径20~30m規模の円墳を中心に数多くの古墳が造られたと考えられます。現在墳丘の残る古墳は11基あり、市指定文化財になっています。この第3号墳は、直径20m、現存墳頂までの高さ3.8mを測ります。

確認調査により、7世紀前半のもので、横穴式石室を持つことが分かりました。なお古墳には、土壘(市指定史跡 木の本壘跡)が取り付いています。詳細は分かりませんが、中~近世のものと思われる。



石室の基底部
(奥壁側から)



確認調査で出土した
銅剣、耳環(上)、土器(下)

木の本古墳群の実地には、後の時代の7世紀後半に橿原郡役所(橿原遺跡)が造られます。ここから東に約1.8km行ったところに橿原遺跡は広がっています。



橿原遺跡
マスコットキャラクター
ハラ君

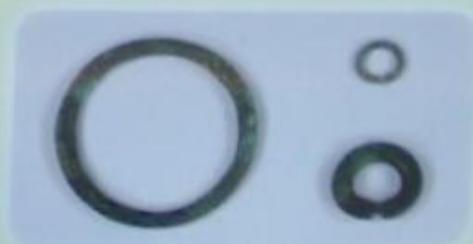
深谷市教育委員会

1～11号墳の場所が示されている/いずれも円墳(ただし、10号墳は造り出し付き円墳あるいは帆立貝形前方後円墳という)





石室の基底部
(奥壁側から)



確認調査で出土した
銅釧、耳環(上)、土師器(下)

木の本古墳群の東端には、
後の時代の7世紀後半に
幡羅郡役所(幡羅遺跡)
が造られます。
ここから東に約1.8km
行ったところに幡羅遺跡
は広がっています。

幡羅遺跡
マスコットキャラクター
ハラ君



深谷市教育委員会







墳頂から南方向を見下ろす



境頂から西方向を見下ろす



墳頂から北西方向を見下ろす



墳頂から北東方向を見下ろす



ところでこの古墳につながって東方向に中世の土塁跡(深谷市指定史跡「木の本塁跡」)が延びている

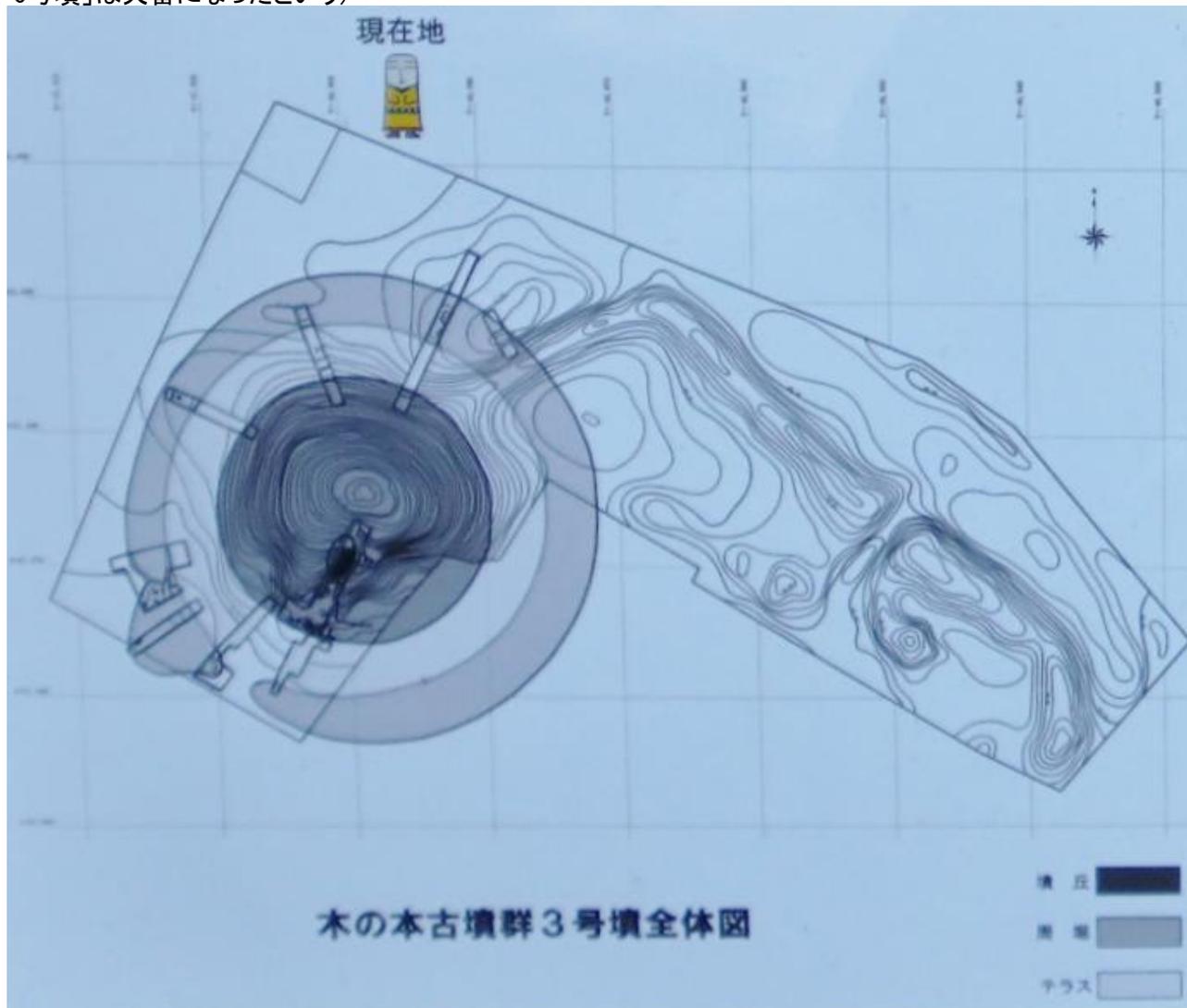


左手古墳の高まりの裾に連続して左手からその前方に土塁跡が続いている





土塁の様子が描かれている(この土塁は元々「木の本6号墳」とされていたが、土塁と判明したために「木の本6号墳」は欠番になったという)



左手の円墳の右上から右手に土塁跡が続いていることが見てとれる/途中の虎口のようなところも記されている

その土塁跡を見よう







振り返って古墳の方向を見る



更に土墨跡を先を進む



右手に土塁跡の側面をしてみると虎口のようなところもある



正面の屋敷は原鉄氏宅といい、中世の城館跡に当たるようだ



古墳の方向を見る









木の本4号墳(おとか塚)(深谷市)

正面が木の本4号墳/円墳







墳頂に祠がある













少し遠目に見る



木の本5号墳(稲荷塚)(深谷市)

前方に木の本5号墳があるらしい円墳



この奥か



コンビニのすぐ隣にある



椰子の木辺りか



椰子の木の左手に高まりがあるようだ



コンビニを右手に見て遠目から古墳を見る/前方の椰子の木辺り



右手の椰子の木の左手辺りか



木の本7号墳(深谷市)

前方の木々の辺りが木の本7号墳/円墳



こちら側(東面)に周溝が検出されたという



アップで見る



道路側に廻って見る





境頂に祠がある



意味深な石材もある/石室材の名残であろうか



木の本8号墳(杉町塚)(深谷市)

これが木の本8号墳/円墳



境頂に沢山の祠がある



墳頂に登って見る



右手に廻って見る







アップで見る



木の本9号墳(深谷市)

この道路の右手の先が木の本9号墳か/円墳



このコーナーの高まりが古墳か









ただし土塁の一部であるようにも見える



この辺りは東方城跡の城域とされており、付近には土塁跡や堀跡が散在している



木の本10号墳(おとうか塚)(深谷市)

右手前方の木々の中に10号墳がある/左手には11号墳がある



この正面前方が木の本10号墳



木々の中に入ってみるとこんな状態



標柱に「木の本古墳群10号墳」とある







群中唯一の帆立貝形前方後円墳である/6世紀中葉から後葉の築造とされる





木の本11号墳(深谷市)

この正面の木々の中に11号墳がある/その右手に10号墳がある



左手に廻ってみる



住宅の敷地内になっているようだが、正面に高まりが見える



アップで見る/これが木の本11号墳/円墳



右手に廻って木々の間から覗いてみると、正面に高まりが見えた



木の本12号墳(天神塚、天神山)(深谷市)

正面中央の木のところが木の本12号墳/円墳







標柱に「木の本古墳群12号墳」とある



左手から見る



右手から見る







さて、頂部に登ってみる



祠がある/手前の石材は石室材の名残であろうか



また、この近くの道路沿いにはこんな石造物があった





珍しい線画による観世音菩薩



木の本13号墳跡(深谷市)

前方は牛舎/左手は福川で橋の後方の木々の辺りは10号墳、11号墳があったところ



反対側から牛舎を見る/この牛舎の辺りが木の本12号墳跡とされる/円墳





木の本No.262古墳跡？(深谷市)

その牛舎のすぐ隣が木の本No.262古墳跡とされる/円墳





この辺りがNo.262古墳跡か



木の本No.263古墳跡？(深谷市)

正面の空き地の辺りが木の本No.263古墳跡らしい/円墳





木の本No.264古墳(深谷市)

正面の木々の辺りが木の本No.264古墳/円墳



反対側から見る





正面に高まりが見てとれる





墳頂に石碑が立つ





裏側から見る





少し退いてみる



木の本No.265古墳(深谷市)

前方の木々のところが木の本No.265古墳/円墳



反対側から見る







供養碑が立っている





木の本No.266古墳跡？(深谷市)

この辺りが木の本No.266古墳跡らしい/円墳



左手を見る



右手を見る/右手前方の木々のところは木の本No.265古墳



木の本古墳の一つか？(深谷市)

正面の木々の中(No.264古墳とNo.265古墳との中間辺り)に古墳らしき高まりがあった



反対側から見る







この高まりは何だろう？









少し退いて見る



楡山神社境内東側付近の古墳？(深谷市)

右手は楡山神社/正面の部分がその古墳なのか？



反対側から見る

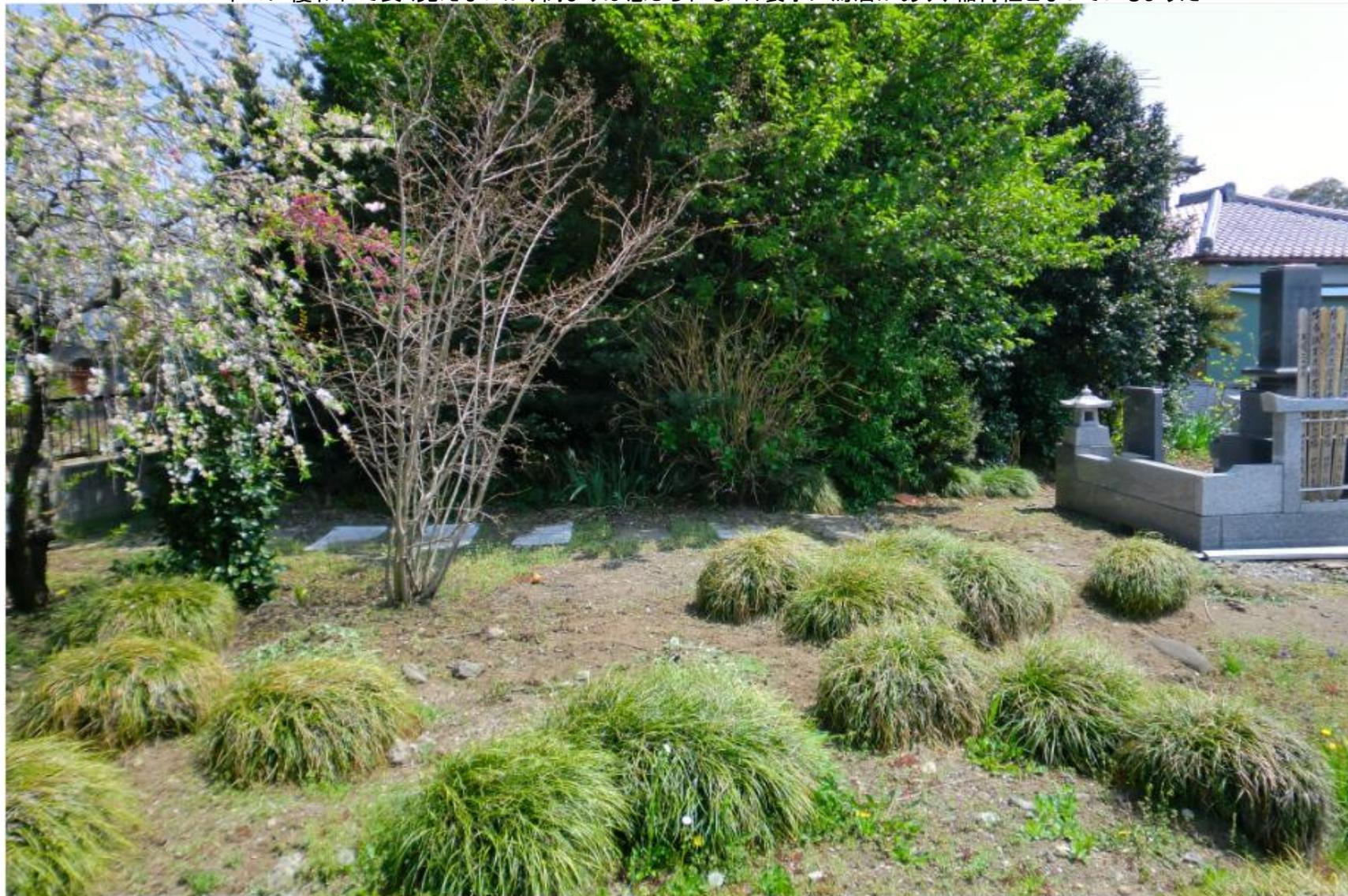


深谷116号遺跡(深谷市)

正面の木々のところが深谷116号遺跡/円墳



木々に覆われて良く見えないが、高まりは感じられる/右裏手に鳥居があり、稲荷社となっているようだ



左手に廻りこむ



前方の木々のところが深谷116号遺跡





森吉古墳(深谷市)

正面が森吉古墳/造り出し付き円墳または帆立貝形前方後円墳とされている/この右手奥からは二基の円墳(下郷1号墳および下郷2号墳)があったという/6世紀後半もしくはそれ以前の築造ではないかという



墳頂に祠がある





欠下台古墳(深谷市)
かけしただい

前方が欠下台古墳/円墳/6世紀の築造とされる/西側から見る



アップで見る



南側から見る



近づいてみる





東側から見る



北側から見る



少し退いて北側から見る



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/fukaya/ki1.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/fukaya/k2.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/fukaya/k3.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/fukaya/k4.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/fukaya/k5.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/fukaya/k7.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/fukaya/k8.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/fukaya/k9.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/fukaya/k10.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/fukaya/k11.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/fukaya/k12.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/fukaya/hinomi.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/fukaya/ruri.html>

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/60_fkya/inari.html

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/60_fkya/hinomi.html

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/60_fkya/kinomo1.html

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/60_fkya/kinomo1.html#002

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/60_fkya/kinomo2.html#003

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/60_fkya/kinomo2.html#004

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/60_fkya/kinomo2.html#005

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/60_fkya/kinomo3.html#006

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/60_fkya/kinomo3.html#007

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/60_fkya/kinomo3.html#008

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/60_fkya/kinomo4.html#009

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3i-aid/kofun/saitama/60_fkya/kinomo4.html#010

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3i-aid/kofun/saitama/60_fkya/kinomo4.html#011

<http://members3.jcom.home.ne.jp/kofun2-hp/saifukin1.htm>

<http://paralleli.life.cocacn.jp/kofunblog2/?p=2452>

矢印が木の本3号墳の辺り/その少し左上に楡山神社がある/その一帯に木の本古墳群が展開している/詳しい位置については参考ホームページを参照のこと

